

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 舞鶴市

プロジェクト名	「仕事をつくり、安心して働けるようにする」プロジェクト		実施期間	平成29～30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市は古来から海とともに発展し、戦前は軍港のまちとして、戦後は海上自衛隊の基地のまちとして国策に基づく大きな性格づけがなされてきた。そうした中、本市の特徴である港湾を中心とした人・物・情報の交流拠点としての機能の充実が求められている。 また、地域経済活動を活発化させるためには、企業の誘致、既存産業・企業の支援、働く場の確保等、雇用環境の向上と事業活動の安定化を図ることが重要である。そして、後継者不足等により衰退する一次産業や個人商店を活性化させるために、本市が有する豊富な地域資源を最大限に活用することにより、付加価値と魅力を持ったサービスの生産・供給につなげ、市民だけでなく、市外からの集客による消費、市外のマーケットでの消費につなげる等、経済規模の拡大も必要である。 「赤れんが」や「海・港」、さらにはユネスコ世界の記憶に登録された引揚記念館収蔵資料や日本遺産に登録された数々の歴史遺産を活用したまちづくりに取り組むとともに、そうした魅力を広く発信することにより、交流人口の拡大を図り、拡大した交流人口の地域内消費を増加させる取組が必要である。							
プロジェクトの目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ■日本海側拠点港「京都舞鶴港」を活かした産業の振興 ■「赤れんが」「海・港」を核とした観光産業の振興によるビジネス創出と観光消費の拡大 ■歴史・文化都市創造への取組 ■ものづくりをはじめとする商工業の振興による経済規模の拡大 ■ブランド力の高い農林水産業の振興による経済規模の拡大 							
	総事業費（千円）	561,686	本年度事業費（千円）	280,843	交付金額（千円）	72,747		

プロジェクトを構成する事業の平成29年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	京都舞鶴港を活かした産業振興事業	交付対象事業	クルーズ対応事業委託費、クルーズ誘致プロモーションの実施、国際交流活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ乗船客の利便性向上のためのシャトルバスの運行や、市内周遊を促進するための観光案内を実施（39回） ・クルーズ船社・旅行会社等訪問（50箇所86回） ・3大都市圏（大阪、名古屋、東京）で日本海クルーズに関するセミナーを実施（3会場延べ350人参加） ・舞鶴市少年使節団を大連市へ派遣（18名） ・ナホトカ市青少年ソフトボール訪問団が来訪（24名） ・ポーツマス市訪問青少年英語研修の実施（8名参加）
	特色ある観光ブランドづくり事業	交付対象事業	赤れんがハーフマラソンの開催	参加者数：2,440人
			海軍ゆかりの観光誘客	<ul style="list-style-type: none"> ・海軍ゆかりの港めぐり遊覧船運航（運行日数87日、乗船者数10,902人） ・海自カレー事業の実施（提供店12店、販売数14178食） ・歴史遺産観光の実施（観光若手ワーキング23人参加、6回開催）
			着地型観光の推進	・着地型旅行商品の造成・実施（19ツアー）
			海の京都観光推進	・観光施設連携事業スタンプラリーの実施（1回）回遊事業（13回）の実施パンフレットの作成（2回、2万部作成）
			周遊観光バスの運行	運行日数87日、乗車人数6,146人
			公共交通利用の誘客企画への支援	JR車両広告（4件）、駅構内デジタルサイネージなどPR活動の実施
			観光ブランドプロモーションの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴観光パブリシティの実施（メディア露出3149件） ・首都圏・京阪神圏でのプロモーション（1件） ・インバウンド事業現地プロモーション（8件）
	食のブランド力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアムランチフェアの開催 6月5日にザ・リッツ・カールトン東京において、料理店・ツアー会社等17名参加のもと、舞鶴産食材を使った料理賞味会を開催。 ・シェフマッチングのフォローアップ補助（20件） 		
	歴史・文化の伝承・発信事業	交付対象事業	赤れんがパークのブランドマネジメント 赤れんがパークでの企画展の開催 文化のまちづくりの推進 文化事業団への補助 日本遺産の活用 世界記憶遺産を活用した地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・赤れんがパークブランドマネジメント事業（ブランド力向上補助金ほか）、日本遺産のPR（日本遺産WEEK関連事業ほか）を展開しH29年度赤れんがパーク来場者69万人を実現した。 ・文化のまちづくり：アートスタート（8/3、9/28、3/24）、ジャズカフェ（10/21、10/22）、田主誠版画展（11/17～11/26）、歴史的建造物を活かしたアート（10/20～10/22） ・海外（ウズベキスタン）に残る日本人抑留者が建設した施設）の博物館資料の調査を実施。全国引揚港巡回展の実施（函館：10/23～29、来場者数：2,480名、田辺展：3/20～25、来場者数：551名、福岡展：11/23～28日、来場者数：1,848名） また、記憶遺産登録資料（570点）の保存処理業務を実施。
地場産業（商工業）強化事業	交付対象事業	新たな地域消費の創造 元気産業創出事業 商店街イノベーション推進事業 企業誘致の実現に向けた取組	商店街イノベーション推進事業を活用した取組9件、新たな地域消費の創造事業（観光産業育成支援事業費補助金）による、元気産業創出事業5件、「まいづる逸品創造促進事業」や「創業支援事業計画」に係る取組等商工会議所との連携推進新規雇用を伴う中小企業の設備投資に対する補助2件、市内企業の販路開拓事業4件、企業誘致の実現に向けた取組（企業訪問件数）129件、中京圏での企業訪問活動102件、円滑な経営支援のための水道大口受給者に対する水道料金補助3件	
もうかる一次産業振興事業	交付対象事業	佐波賀だいこんのブランド化、地域農業特産振興事業、6次産業化の推進、豊かな森づくりの推進、地元産食材の学校給食利用	京の伝統野菜「佐波賀だいこん」の生産振興、地域特産物生産振興事業費補助金（4団体）、間伐材搬出材積：3,128㎡（主な搬入先：林ベニヤ産業㈱、京都丹州木材市場など）、学校給食における地元産食材の活用14,647食 1,025,290円	
地元産業の災害復興支援	交付対象事業	平成29年の台風18号及び21号で被災した農業・水産業・商工業者を支援するための各種施策を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・農業災害ボランティアの派遣（実施日数：5日、作業箇所数：延べ7箇所、参加人数：延べ63人） ・被災担い手農家等の経営の継続・再建を支援（11経営体） ・農地・林道等の復旧支援（農地：・32地区・42箇所、林道：8路線） ・漁村活性化センターパーゴラ修繕工事 711,104円 ・竜宮浜漁港海岸（三浜地区）侵食対策工事 2,881,440円 ・商店街にぎわい回復を目的とした取組2件 ・中小企業の設備等補修支援補助：1件 	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 舞鶴市

	赤れんがパーク賑わい創出事業	関連事業	赤れんがフェスタの開催など、市民団体等と協働した企画開催の委託経費	赤れんが夏季賑わい創出事業 夏休み集客イベント (7月28日～8月16日 来場者：25,643人) 赤れんがフェスタ (10月21日、22日 来場者：14,354人) ※22日は、台風の影響で屋外イベントは中止 クリスマス集客イベント (12月1日～25日 来場者：10,499人)	
	赤れんがパーク整備事業	関連事業	屋外飲食店舗用貸し出し機材の整備等	来場者数 (H28年度 620,129人 → H29年度 691,189人) パーク内消費 (H28年度 112百万円 → H29年度 134百万円)	
	引揚の史実継承事業	関連事業	引揚の史実を継承するための教育旅行や語り部の育成等に係る委託経費等	舞鶴引揚記念館への教育旅行誘致（新規受入校15校）、語り部養成講座の開催（2/3～3/17、全12講座、受講者30名、修了者26名（内中学生7名、高校生4名）	
	海の京都観光推進事業	関連事業	・海の京都DMOへの負担金 ・スポーツトレイル事業推進協議会への負担金	・「由良川大江山SEA TO SUMMIT」平成29年度負担金（9/30～10/1開催、71組112名参加） ・海の京都DMOへの負担金（一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社） ・マーケティング調査(Wi-Fiパケットセンサーなど) ・旅行商品の造成・販売 ・交通アクセス拡充のためのトライアル事業（舞鶴～伊根航路など） ・プロモーション事業（HP全面リニューアル）など	
	着地型観光推進事業	関連事業	舞鶴-伊根間を運行する遊覧船及び引き揚げを体感する遊覧船の運航委託	・遊覧船引揚コースの運航 87日間、682人乗船	
	舞鶴観光ブランドプロモーション	関連事業	引揚の史実に基づく平和学習を中心とする教育旅行の誘致委託	舞鶴引揚記念館への教育旅行誘致（新規受入校15校）	
住民協働事業					
住民が取り組む事業					
成果指標①	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（20回）		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	39回
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	日本海側を定期周遊するクルーズの頻度が増加し、全体の数値を押し上げたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標②	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（6回）		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	33回
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	日本海側を定期運航する舞鶴発着のクルーズを継続して運航させると同時に、その頻度を増加させたため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標③	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（15,000TEU）		成果指標の実績値 (29年12月31日時点)	13,402TEU
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	新規利用貨物が増加し、前年度を約2,000TEU上回り、過去最高を更新した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標④	成果指標の目標数値	海軍ゆかりをテーマにした観光事業数(10事業)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	海軍ゆかりの港めぐり遊覧船（運行日数87日、乗船者数10,902人）、四季旅での海軍ゆかりツアー(19件)などを実施。
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	本市ならではのコンテンツとして、様々な手法での事業を実施したもの	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑤	成果指標の目標数値	フィルムコミッション対応件数（50件）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	問い合わせ：45件 撮影：27件(映画6件、テレビ12件、その他9件)
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	問い合わせ案件を丁寧に対応することで業界内の評判につながり案件が増えた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑥	成果指標の目標数値	赤れんがパークの来場者数（550,000人）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	691,189
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	赤れんがパークにおいて、ブランド力の向上を目的とした複数のイベントプロモーションを実施した結果、目標とする来場者数を大幅に更新することができた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑦	成果指標の目標数値	市制度の活用による創業事業所数（20事業所/年）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	14
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	関係機関との連携を強化し、制度の周知等に努めた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	
成果指標⑧	成果指標の目標数値	新たな商品開発に取り組む事業所数（30事業所/年）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	13
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	商工会議所と連携し、商品開発を含む事業所支援に取り組んだ。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)	

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成29年度分）

団体名： 舞鶴市

成果指標⑨	成果指標の目標数値	来街目的の創出による新たな来街者数（12,000人）		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	新たな来街者数：9,406人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	様々なコンテンツ創出、周遊策の実施により、来街者数の増加に取り組んだが、台風等の影響により実施できなかった事業もあったため、目標数値には届かなかった。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑩	成果指標の目標数値	万願寺甘とうの栽培面積 (平成30年度：800a)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	670.4a
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	平成28年度（689a）と比較すると2.7%減少 今後、GI登録商品の強みを活かし、園芸施設栽培や新規就農者の栽培面積拡大を支援する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑪	成果指標の目標数値	京のブランド産品認定件数（累計） (平成30年度：6品)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	3品（農林分）、2品（水産分）
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	佐波賀だいこんは、栽培面積の拡大と安定した流通の確保を継続して支援する。育成岩がきについて、育成用種苗の安定確保により、出荷量の安定化を図る。サワラについては、規格の統一により他のものとの差別化を図る。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
成果指標⑫	成果指標の目標数値	間伐材搬出量 (平成30年度：4,500m ³)		成果指標の実績値 (30年3月31日時点)	3,128m ³
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	効率的に間伐施業できる事業地の確保及び搬出材積の増加を支援する。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	京都舞鶴港発着クルーズや赤れんがパークの来場者数は目標を上回る成果を出しており、京都舞鶴港を活かした産業振興事業でのPRや歴史・文化の伝承・発信事業でのイベント企画・拠点整備等の取り組みによる効果があった。一方で、来街者数の増加が課題となっており、赤れんがパーク等の観光拠点に留まらず、まちなかへの周遊策の強化が引き続き必要である。				
※未達成の場合も効果を記載すること	また、地場産業の強化事業により、新規創業や新商品開発は着実に成果を上げている一方、もうかる1次産業の確立には課題があるものの、台風18・21号災害からの復旧には被災担い手農家等の経営の継続・再建支援には効果があった。				
	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	地方創生推進交付金を活用し、観光拠点である赤れんがパークや引揚記念館の集客力アップや、海の京都DMOと連携した観光事業の展開により、観光客増に成果があった。			
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府及び一般社団法人舞鶴港振興会との連携により、効果的なクルーズ誘致、ポートセールスを実施することにより、39回のクルーズ船寄港を実現し、コンテナ取扱数は過去最高を記録するなど、大きな成果を得ている。			
	住民の自治意識を高める成果				
	リーディング・モデル成果	日本遺産に認定された赤れんが倉庫群をはじめとする近代化遺産の魅力を、海自カレーなどの舞鶴ならではのグルメとともに発信するなど、独自の観光戦略を展開することができた。			
	広域的波及成果	クルーズ船寄港回数増により、京都府北部地域・京都市内等への観光客増に成果があった。また、コンテナ年間取扱量も順調に増加しており、京都舞鶴港の利用促進により、京都府北部地域の産業振興にも一定効果があったと考えられる。			
	行財政改革に資する成果				
	その他の成果				